



製品安全対策& 消費者対応の法的リスク棚卸し

消費者向け製品の製造・販売企業のための法令遵守体制チェック

少人数のワークショップ形式で、参加企業の製品安全・消費者対応分野のリスクを徹底的に検証します。製造から販売までの、法的リスクの洗い出し方、社内体制や規程・お客様対応窓口マニュアルのチェック、契約書のレビューポイントに至るまで、とことん具体的に検討します。全4回を通してご参加いただくことで、自社の法的リスクマップが出来上がり、次の日から何をすればいいのかが明確になります。

全4回

第①回 9/14 Thu 15:00-17:00

内部規程整備・社内体制構築総論

第②回 9/20 Wed 15:00-17:00

法令遵守のためのプロセス (1)～消費者法を中心に～

第③回 9/27 Wed 15:00-17:00

法令遵守のためのプロセス (2)～消費者法を中心に～

第④回 10/4 Wed 15:00-17:00

製品事故対応で企業の命運を左右するポイント

- 対 象** (企業) ●消費生活用製品を製造あるいは販売している会社
●製品安全や消費者対応を行っている会社
- (担当者) ●法務・総務 ●品質管理 ●顧客対応統括
- (課題感) ●製品安全問題や消費者対応に不安があり、社内体制等の見直しをしたい。
- 法務・総務などの管理部門が小規模であり、外部の専門家やツールの活用を検討している。
- 上場等を見据えて、経営管理体制、社内規程等の整備・見直しをしたい。

講 師

原 雅宣 弁護士／ニューヨーク州弁護士 TMI総合法律事務所

製造物責任、企業間訴訟・紛争、国際訴訟、コンプライアンス等を多く扱う。近時の著作・セミナーとして、「消費生活用製品のリコール対応・費用求償におけるポイント」(ビジネスロー・ジャーナル2015年7月号)、共著「民事訴訟代理人の実務」(I)訴えの提起(青林書院、2012年)、共著「最新判例からみる民事訴訟の実務」(青林書院、2010年)、「法務担当者のための民事訴訟・交渉・予防法務戦略～製造物責任(PL法)に基づくリコール費用の求償訴訟を中心題材として～」(金融財務研究会、2014年～2017年)等。慶應義塾大学法学部法律学科卒、Boston University School of Law(LL.M)卒。東京弁護士会民事訴訟問題等特別委員会、日本民事訴訟法学会所属。

伊勢 智子 弁護士／ニューヨーク州弁護士 TMI総合法律事務所

一般企業法務、知的財産法務、消費者関連法、消費者対応、企業間訴訟・紛争、国際訴訟等を多く扱う。日本企業及び外資系企業での駐在経験、米国法律事務所での勤務経験をする。慶應義塾大学法学部法律学科卒、Northwestern University School of Law(LL.M)卒。

久保田 修平 弁護士 TMI総合法律事務所

製造物責任、企業間訴訟・紛争、建築訴訟、コンプライアンス案件等を多く扱う。早稲田大学法学部卒、早稲田大学大学院法務研究科修了。

篠原 一生 弁護士 TMI総合法律事務所

消費者関連法、M&A、労務、フランチャイズ、倒産・事業再生、一般企業法務等を多く扱う。明治大学法学部法律学科卒、早稲田大学大学院法務研究科修了。第一東京弁護士会総合法律研究所倒産法研究部会委員。

会 場 グランドハイアット東京4階 タイム会議室
〒106-0032 東京都港区六本木6-10-3
東京メトロ 日比谷線「六本木駅」10番出口より 徒歩3分
都営地下鉄 大江戸線「六本木駅」3番出口より 徒歩6分

参加費用 100,000円(1回37,250円)(税抜)

定 員 10名

主 催 レクシスネクシス・ジャパン株式会社

問い合わせ先 レクシスネクシス・ジャパン株式会社
広告・出版部セミナー担当
seminar@lexisnexis.co.jp

※内容は一部変更になる場合があります

LexisNexis コンプライアンスマネージャーシリーズ
Compliance Manager series

とは？

Lexis ASONE Compliance Manager (ACM) は、監視すべき法令を特定し、コンプライアンスの遵守状況を見える化するソリューションです。

本セミナーシリーズでは、ACMがカバーするコンプライアンス上の重要な課題を取り上げます。



LexisNexis®

Lexis® AS ONE Compliance Manager

お申し込みは
webサイトから
詳しくは

<http://www.lexis-seminar.jp/>

レクシス セミナー

検索

1
回
目

内部規程整備・社内体制構築総論

製品安全体制に関連する事項を中心に

講師 伊勢・原

① 内部規程・社内体制のあり方総論

- ✓ 内部規程の役割、間接部門が果たすべき役割
～間接部門がコストをかける意義～
- ✓ 内部規程について起こりがちな問題
～内部規程の整備、運用、改訂のあり方～
- ✓ 製品安全体制の構築のための他社の取り組み事例や工夫例のご紹介及び意見交換

② 法令遵守のための社内体制のあり方

- ✓ 自社のビジネスを規制する法令の把握
- ✓ 規制法令の要求する遵守事項の把握
- ✓ 業務フローに照らした遵守状況のチェック
- ✓ 同業他社又は同種製品の事故事例等の収集のあり方

③ 内部規程・社内体制の見直しのタイミングとその方向性

2
回
目

法令遵守のためのプロセス(1)

～消費者法を中心に～

講師 伊勢・篠原

① 自社のビジネスを規制する法令の把握

- ✓ 消費者を対象とするビジネスに関する主な法令
(消費者契約法、特定商取引法、割賦販売法等)
- ✓ 自社ビジネスの把握
- ✓ 規制法令の把握手順

② 規制法令の要求する遵守事項の把握

- ✓ 自規制内容の確認
- ✓ 自社ビジネスへの影響の確認

3
回
目

法令遵守のためのプロセス(2)

～消費者法を中心に～

講師 伊勢・篠原

① 業務フローに照らした遵守状況のチェック

- ✓ チェック項目の周知方法
- ✓ チェック項目の確認担当者
- ✓ チェック項目の確認対象

※講義の中で、参加企業各社には、自社が法令の遵守状況を確認する社内体制を構築できているか否かをチェックしていただく予定です。

② 消費者からのクレーム対応

消費者からのクレーム対応と弁護士の活用

4
回
目

製品事故対応で企業の命運を左右するポイント

企業価値、社会的信頼を毀損しないために

講師 原・久保田

① (有事の対応) 製品事故対応

～消費生活用製品安全法上の「消費生活用製品」を例として～

- ✓ お客様対応窓口の対応マニュアル再チェック
～クレームと製品起因事故との判別の為に～
- ✓ 社内外の関係部署との連携・共有体制の再チェック
～社内外の連絡網の再チェック、製造事業者・輸入事業者と販売事業者の各責務についての整理～
- ✓ リコール等の対応のための各部門のTO DOの再チェック

② (平時の対応) 製品安全に関する各種リスクをヘッジするために

- ✓ 買主側・売主側それぞれにおいて留意すべき契約書のチェックポイント
～問題となる事例を紹介しつつ～

③ 弁護士の使い方